

草津白根山

火山活動評価：静穏な状況(レベル1)

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

現在の活動度レベルは1です。平成17年2月1日導入以降、レベル1が継続しています。

概況

・噴煙など表面現象の状況(図1)

逢ノ峰(湯釜の南約1km)に設置してある遠望カメラで、20日と22日に北側噴気地帯の噴気孔からのごく弱い噴気が認められました。これらの噴気は、気象の影響により見えていると推定され、火山活動の活発化を示すものではないと考えられます。

・地震や微動の発生状況(図1、図2)

火山性地震の発生回数は1日あたり0~5回と少なく、地震活動は静穏に経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況(図2)

GPS連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。



図1 草津白根山 湯釜付近の状況(12月22日 逢ノ峰遠望カメラによる)
赤丸内は北側斜面噴気地帯(図4参照)の噴気孔から上がるごく弱い噴気。

この資料は気象庁のほか、東京工業大学のデータ等も利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ(標高)』を使用しています(承認番号:平17総使、第503号)。

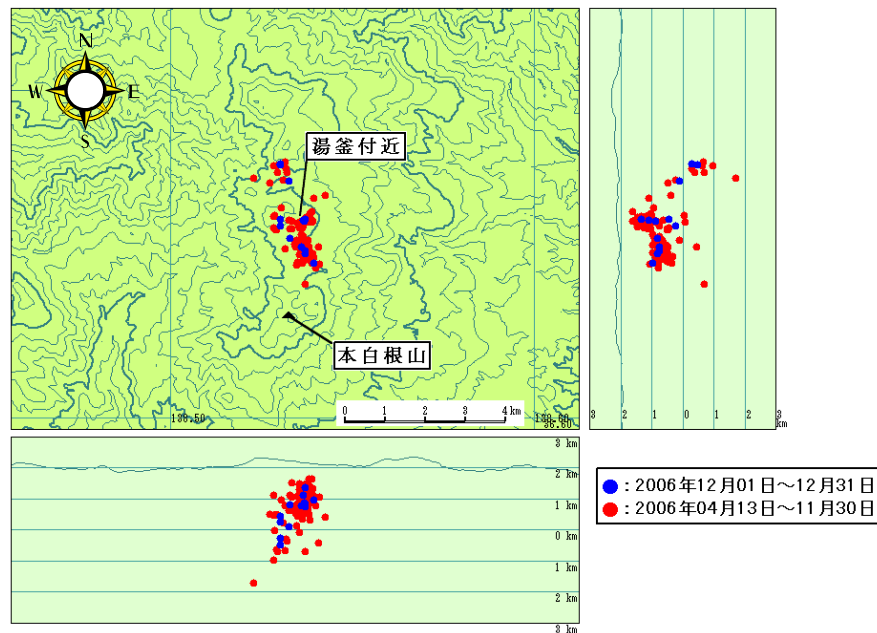


図 2 草津白根山 山体及びその周辺の地震活動（2006 年 4 月 13 日～2006 年 12 月 31 日）

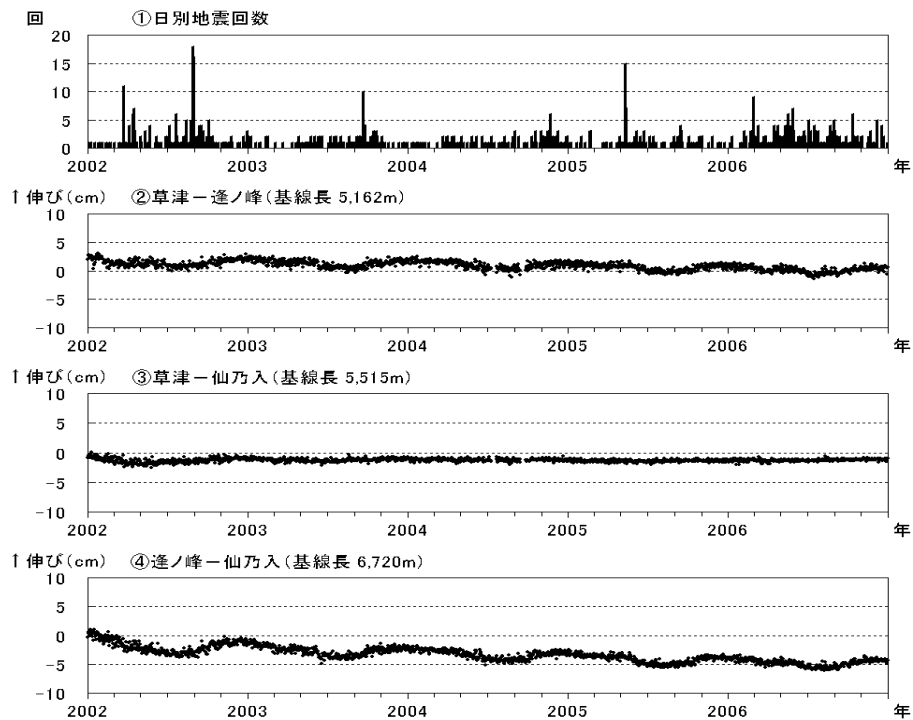


図 3 草津白根山 最近の火山活動の推移（2002 年 1 月～2006 年 12 月）

日別地震回数

2004 年 5 月 19 日に草津白根山の北西約 10km 付近に発生した構造性地震はグラフから除外しています。

～ GPS 連続観測による基線長変化

基線長変化にみられる冬季の伸びと夏季の縮みの傾向は季節変動による変化です

～ は図 3 の GPS 基線 ～ に対応しています。

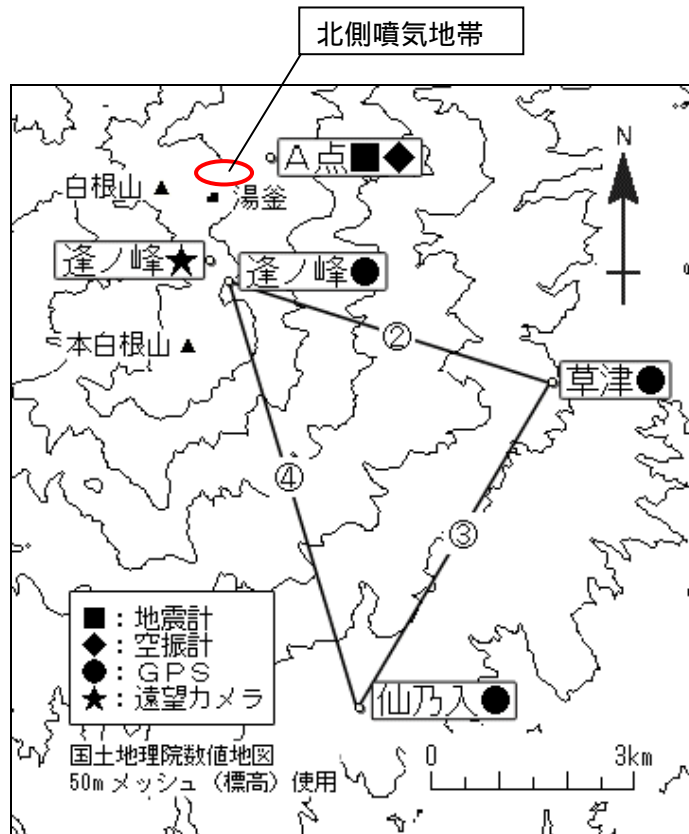


図4 草津白根山 気象庁の観測点配置図(小さな白丸は観測点位置を示しています)
GPS基線 ~ は図3の ~ に対応しています。